

再評価結果（平成17年度継続事業箇所）

担当課：都市整備課

担当課長名：榊 茂之

事業名	ひめかいどうせん 姫街道線		事業区分	街路	事業主体	愛知県	
起終点	あいちけんおよびよかわしのぐちちょう 自：愛知県豊川市野口町 あいちけんおよびよかわしすわにしまち 至：愛知県豊川市諏訪西町			延長	0.6 km		
事業概要 本路線は、豊川市の中心部を東西に貫く幹線道路であるが、現道は幅員12mの2車線道路で、現在飽和状態となっており、本区間を整備することにより西側の主要地方道東三河環状線から市中心部にいたる区間の4車化が完成し、発生集中する交通の円滑な処理が可能となる。							
H8年度事業化		S43年度都市計画決定 (S46年度変更)		H8年度用地着手		H10年度工事着手	
全体事業費		約20億円		事業進捗率	66%	供用済延長	0m
計画交通量		29,300台/日					
費用便益比	B/C	総費用	総便益		基準年		
	1.5	21.68億円	31.61億円		平成17年		
		事業費：21.23億円	走行時間短縮便益：30.24億円				
		維持管理費：0.45億円	走行費用減少便益：0.76億円				
			交通事故減少便益：0.61億円				
事業の効果等 ・都市の再生（DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する。） ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動中心都市へのアクセス向上が見込まれる。）							
関係する地方公共団体等の意見 姫街道線は、地域交流の促進、交通緩和に重要な役割を果たすことが期待されており、豊川市から早期整備の要望を受けている。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 本事業区間の交通量は増加傾向にあり、慢性的な渋滞が発生している。この渋滞の解消に本路線整備への期待が大きい。							
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収は約80%進捗している。 残事業は、用地買収11件、道路工事L=617m							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地交渉や代替地の選定等に時間を要したことから、事業が長期化した。用地買収を完了するため、収用も踏まえ引き続き用地交渉を進め、平成20年度末事業完了を目標としている。							
施設の構造や工法の変更等 新工法による大規模なコスト縮減はないが、再生材の使用等によりコスト縮減を図るとともに、「あいくる材」の積極的な活用等により環境負荷の低減に努める。							
対応方針	事業継続						
事業概要図 							